

## 大会宣言

私たち技術士は、「未来技術の創生と展望 ～巨大災害を生き抜く～」の大会テーマのもと、東日本大震災の復興に取り組んでいる福島に集いました。

震災発生から7年8ヶ月が経過しましたが、福島県は大津波と原発力災害によって、自然的、社会的及び経済的な基盤が失われ、復興事業の停滞と避難生活や風評被害を余儀なくされています。

本大会では、全国の技術士があらためて福島県の復旧・復興の現状と原発事故処理及び地域再生事業の取組み状況を再認識するとともに、活力ある地域づくりと国土の防災・減災への取組み、社会の安全・安心確保等の重要性を全国に発信して、誠実に行動することを宣言します。

### 大会宣言

- 一、福島県の震災復興と風評被害の回復を継続的に支援し、広範な地域間連携づくりに取り組みます。
- 二、常襲する豪雨・地震災害に備える国土の防災・減災、食の安全供給、地域創生に資する公益活動に積極的に取り組みます。
- 三、プロフェッショナルエンジニアとしての自覚を持ち、次世代の科学技術者育成を支援するとともに、継続教育・技術研鑽に努め、自らの技術に責任を持ちます。

平成三十年十一月十二日

第四十五回技術士全国大会（福島）

参加者一同